
AX2200S・AX2100S・AX1250S・AX1240S

ソフトウェアマニュアル

訂正資料

Ver.2.8 以降対応版

■はじめに

このマニュアルは、以下に示す AX2200S・AX2100S・AX1250S・AX1240S シリーズ ソフトウェアマニュアルからの変更内容を記載しています。

マニュアル名	マニュアル番号	発行
ALAXALA AX2200S・AX2100S・AX1250S・AX1240S ハードウェア取扱説明書	AX1240S-H001-A0	2018年3月
AX2200S・AX2100S・AX1250S・AX1240S ソフトウェアマニュアル コンフィグレーションガイド Vol.1 (Ver.2.7 対応)	AX1240S-S001-A0	2018年3月
AX2200S・AX2100S・AX1250S・AX1240S ソフトウェアマニュアル コンフィグレーションガイド Vol.2 (Ver.2.7 対応)	AX1240S-S002-A0	2018年3月
AX2200S・AX2100S・AX1250S・AX1240S ソフトウェアマニュアル コンフィグレーションコマンドレファレンス (Ver.2.7 対応)	AX1240S-S003-A0	2018年3月
AX2200S・AX2100S・AX1250S・AX1240S ソフトウェアマニュアル 運用コマンドレファレンス (Ver.2.7 対応)	AX1240S-S004-A0	2018年3月
AX2200S・AX2100S・AX1250S・AX1240S ソフトウェアマニュアル メッセージ・ログレファレンス (Ver.2.7 対応)	AX1240S-S005-A0	2018年3月
AX2200S・AX2100S・AX1250S・AX1240S ソフトウェアマニュアル MIB レファレンス (Ver.2.7 対応)	AX1240S-S006-A0	2018年3月

■輸出時の注意

本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法の規制ならびに米国の輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認のうえ、必要な手続きをお取りください。

なお、不明な場合は、弊社担当営業にお問い合わせください。

■商標一覧

Ethernet は、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。

Microsoft は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

RSA, SecurID については RSA Security Inc.の米国およびその他の国における商標もしくは登録商標です。

Wake on LAN は、IBM Corp.の登録商標です。

MagicPacket は、Advanced Micro Devices,Inc.の登録商標です。

イーサネットは、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。

そのほかの記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

■マニュアルはよく読み、保管してください。

製品を使用する前に、安全上の説明をよく読み、十分理解してください。

このマニュアルは、いつでも参照できるよう、手近な所に保管してください。

■ご注意

このマニュアルの内容については、改良のため、予告なく変更する場合があります。

■ 発行

2018年 8月 (第1版)

■ 著作権

All Rights Reserved, Copyright (C), 2018, ALAXALA Networks Corp.

変更内容

■ 第 1 版の変更内容

表 変更内容

マニュアル名	追加・変更内容
コンフィグレーションガイド Vol.1	「14 イーサネット」 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T 用 SFP 使用時の注意事項を追加しました。
コンフィグレーションコマンドレファレンス	「7 省電力機能」 下記のコマンドを変更しました。 power-control port cool-standby schedule-power-control port cool-standby
	「8 イーサネット」 下記のコマンドを変更しました。 duplex mdix auto speed
運用コマンドレファレンス	「14 イーサネット」 下記のコマンドを変更しました。 show interfaces show port
メッセージ・ログレファレンス	「2.5.2 イベント発生部位=SFP」を変更しました。 「2.5.3 イベント発生部位=FABRIC」を変更しました。
MIB レファレンス	「3.14.6 ax2130sChassis グループの実装仕様 (line (物理回線) 情報)」を変更しました。

目次

第 1 編	コンフィグレーションガイド Vol.1	6
第 2 編	コンフィグレーションガイド Vol.2	8
第 3 編	コンフィグレーションコマンドレファレンス	9
第 4 編	運用コマンドレファレンス.....	16
第 5 編	メッセージ・ログレファレンス.....	25
第 6 編	MIB レファレンス	28

14 イーサネット

14.8 Gigabitethernet (SFP) の解説

14.8.2 SFP 使用時の注意事項

追加

(6) 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T 用 SFP 使用時 [Ver.2.8 以降]

(6) 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T 用 SFP 使用時 【AX2100S】

本装置では、SFP ポートで 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T 用の SFP-T を使用できます。

通信機能については、10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T ポートと、SFP ポートの接続で違いはありませんが、インタフェース種別は 1000BASE-T だけとなります。

第2編 コンフィグレーションガイド Vol.2

追加および変更はありません。

7 省電力機能

power-control port cool-standby

変更

[注意事項] [Ver.2.8 以降]

[注意事項]

5. 1000BASE-X (SFP-T 含む) ポートは、リンクダウンポートの省電力機能が未サポートのため、本コマンドを設定しても動作しません。

schedule-power-control port cool-standby

変更

[注意事項] [Ver.2.8 以降]

[注意事項]

5. 1000BASE-X (SFP-T 含む) ポートは、リンクダウンポートの省電力機能が未サポートのため、本コマンドを設定しても動作しません。

8 イーサネット

duplex

追加

【注意事項】 【Ver.2.8 以降】

【注意事項】

1. speed または duplex のどちらか一方に auto または auto を含むパラメータを設定した場合、オートネゴシエーションを行います。
2. 1000BASE-X でオートネゴシエーションを使用しない場合、speed を 1000 にするとともに、duplex を full にする必要があります。【AX2200S】 【AX1250S】 【AX1240S】
3. 1000BASE-X (SFP-T 含む) でオートネゴシエーションを使用しない場合、speed を 1000 にするとともに、duplex を full にする必要があります。【AX2100S】
4. media-type を変更した場合、本コマンドの設定はデフォルト状態に戻ります。【AX1250S】 【AX1240S】
5. media-type auto を設定した場合、本コマンドは設定できません。【AX1250S】 【AX1240S】
6. UTP ポート (RJ45) を固定設定で使用する場合には MDI-X となります。
7. 100BASE-FX の場合、duplex を full に設定してください。【AX1250S】
8. half パラメータ設定は、10BASE-T/100BASE-TX の場合だけ設定が有効となります。

mdix auto

追加

[注意事項] [Ver.2.8 以降]

[注意事項]

6. SFPポートでは本コマンドは無効です。(SFP-T実装時を除く)【AX2100S】

追加

[注意事項]

7. SFPポートでは本コマンドは無効です。【AX2200S】

speed

追加

[注意事項] [Ver.2.8 以降]

[注意事項]

1. speed または duplex のどちらか一方に auto または auto を含むパラメータを設定した場合、オートネゴシエーションを行います。
2. 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T でオートネゴシエーションを使用しない場合、speed を 10 または 100 にするとともに、duplex を full または half にする必要があります。【AX2200S】【AX1250S】【AX1240S】
3. 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T (UTP) でオートネゴシエーションを使用しない場合、speed を 10 または 100 にするとともに、duplex を full または half にする必要があります。【AX2100S】
4. 1000BASE-X でオートネゴシエーションを使用しない場合、speed を 1000 にするとともに、duplex を full にする必要があります。【AX2200S】 【AX1250S】 【AX1240S】
5. 1000BASE-X (SFP-T 含む) でオートネゴシエーションを使用しない場合、speed を 1000 にするとともに、duplex を full にする必要があります。【AX2100S】
6. media-type を変更した場合、本コマンドの設定はデフォルト状態に戻ります。【AX1250S】 【AX1240S】
7. media-type auto を設定した場合、本コマンドは設定できません。デフォルト値でご使用ください。【AX1250S】 【AX1240S】
8. UTP ポート (RJ45) を固定設定で使用する場合には MDI-X となります。
9. 100BASE-FX はオートネゴシエーション未サポートのため、speed を 100 に設定してください。auto ではリンクアップしません。【AX1250S】

14 イーサネット

show interfaces

変更

[実行例 3] [実行例 4] [実行例 3, 4 の表示説明] [Ver.2.4 以降]

[実行例 3]

図 14-4b 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T 指定実行結果画面 【AX2200S】【AX2100S】

> show interfaces gigabitethernet 0/1

Date 20XX/07/26 11:55:47 UTC

Port 0/1 : active up 1000BASE-T full(auto) 0012.e210.0101

PoE status: on Class: 4 Priority: critical

Time-since-last-status-change: 01:57:05

Bandwidth: 1kbps Average out: 1Mbps Average in: 0Mbps

Peak out: 325Mbps at 11:50:03 Peak in: 0Mbps at 00:00:00

Output rate: 6.5kbps 13pps

Input rate: 0bps 0pps

Flow control send : off

Flow control receive: off

TPID: 8100

Frame size: 9019 Octets Interface name: gigaether0/1

Description: Port 0/1

<Out octets/packets counter> <In octets/packets counter>

Octets : 27015914420 Octets : 0

All packets : 6047414 All packets : 0

Multicast packets : 1500284 Multicast packets : 0

Broadcast packets : 3031859 Broadcast packets : 0

Pause packets : 0 Pause packets : 0

<Out line error counter>

Late collision : 0 Defer indication : 0

Single collision : 0 Excessive deferral : 0

Multiple collisions : 0 Excessive collisions : 0

Error frames : 0

<In line error counter>

CRC errors : 0 Symbol errors : 0

Alignment : 0 Fragments : 0

Short frames : 0 Jabber : 0

Long frames : 0 Error frames : 0

<Line fault counter>

Link down : 0

>

[実行例 4]

図 14-5a 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T 詳細統計情報指定実行結果画面 【AX2200S】【AX2100S】

> show interfaces gigabitethernet 0/1 detail

Date 20XX/07/26 11:55:48 UTC

Port 0/1 : active up 1000BASE-T full(auto) 0012.e210.0101

PoE status: on Class: 4 Priority: critical

Time-since-last-status-change: 01:57:06

```

Bandwidth: 1kbps Average out: 1Mbps Average in: 0Mbps
Peak out: 325Mbps at 11:50:03 Peak in: 0Mbps at 00:00:00
Output rate:      7.6kbps      15pps
Input rate:       0bps        0pps
Flow control send : off
Flow control receive: off
TPID: 8100
Frame size: 9019 Octets Interface name: gigaether0/1
Description: Port 0/1
<Out octets/packets counter>      <In octets/packets counter>
Octets      :      27015916232  Octets      :      0
All packets :      6047441      All packets :      0
Multicast packets :      1500287  Multicast packets :      0
Broadcast packets :      3031873  Broadcast packets :      0
Pause packets :      0          Pause packets :      0
64 packets  :      74748        64 packets  :      0
65-127 packets :      67627      65-127 packets :      0
128-255 packets :      84836      128-255 packets :      0
256-511 packets :      170187      256-511 packets :      0
512-1023 packets :      341353      512-1023 packets :      0
1024-1518 packets :      327927      1024-1518 packets :      0
<Out line error counter>
Late collision :      0          Defer indication :      0
Single collision :      0        Excessive deferral :      0
Multiple collisions :      0      Excessive collisions :      0
Error frames :      0
<In line error counter>
CRC errors :      0          Symbol errors :      0
Alignment :      0          Fragments :      0
Short frames :      0        Jabber :      0
Long frames :      0         Error frames :      0
<Line fault counter>
Link down :      0
>

```

[実行例 3, 4 の表示説明]

10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T, 100BASE-FX/1000BASE-X のインタフェース情報、ポートの詳細情報と統計情報の表示項目の説明を次の表に示します。

表 14-3 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T, 100BASE-FX/1000BASE-X の summary 情報表示

表示項目	表示内容	
	詳細情報	意味
(略)		
<回線種別>	10BASE-T half	10BASE-T 半二重 【AX2200S】 【AX2100S】
	10BASE-T half(auto)	10BASE-T 半二重 【AX2200S】 【AX2100S】 (オートネゴシエーションにより、上記回線種別となりました)
	10BASE-T full	10BASE-T 全二重 【AX2200S】 【AX2100S】
	10BASE-T full(auto)	10BASE-T 全二重 【AX2200S】 【AX2100S】 (オートネゴシエーションにより、上記回線種別となりました)
	100BASE-TX half	100BASE-TX 半二重 【AX2200S】 【AX2100S】

表示項目	表示内容	
	詳細情報	意味
	100BASE-TX half(auto)	100BASE-TX 半二重 【AX2200S】 【AX2100S】 (オートネゴシエーションにより、上記回線種別となりました)
	100BASE-TX full	100BASE-TX 全二重 【AX2200S】 【AX2100S】
	100BASE-TX full(auto)	100BASE-TX 全二重 【AX2200S】 【AX2100S】 (オートネゴシエーションにより、上記回線種別となりました)
	1000BASE-T full(auto)	1000BASE-T 全二重 (オートネゴシエーションにより、上記回線種別となりました)
	(略)	
	—	回線種別が不明です。 以下の場合、本表示となります。 ・ポート状態が active up 以外 ・media-type が SFP で、connect 以外の場合 【AX12500S】 【AX1240S】 ・トランシーバ状態が connect 以外 【AX2200S】 【AX2100S】
<MAC アドレス>	該当ポートの MAC アドレス	
PoE Status ※10 【AX2200S】 【AX2100S】	ポートの PoE 状態を表示します。	
	on	電力を供給しています。
	off	電力を供給していません。
	faulty	接続された装置に電力を供給できません。
	denied	十分な電力がなく、電力を供給していません。
	inact	運用コマンドで電力の供給を停止しています。
Class ※10 【AX2200S】 【AX2100S】	供給中の IEEE802.3af/IEEE802.3at 準拠電力供給クラス、または手動による電力供給割り当てを表示します。	
	0	Class0(15.4W)
	1	Class1(4.0W)
	2	Class2(7.0W)
	3	Class3(15.4W)
	4	Class4(30.0W)
	manual	手動による電力供給割り当て
—	無効	
Priority ※10 【AX2200S】 【AX2100S】	設定した電力供給の優先度を表示します。	
	critical	ポート優先度設定が有効で、最重要ポートとして電力供給を保証します。
	high	ポート優先度設定が有効で、電力供給の優先度を高く供給します。
	log	ポート優先度設定が有効で、電力供給の優先度を低く供給します。
	—	ポート優先度設定が無効で、電力を供給します。
	never	PoE 機能無効です。

表示項目	表示内容	
	詳細情報	意味
<トランシーバ種別>	SFP	
<トランシーバ状態>	connect	実装
	not connect	未実装
	not support	未サポートのトランシーバが実装

注※10 PoE モデルだけ表示します。

変更

[実行例 3] [実行例 4] [実行例 3, 4 の表示説明] [Ver.2.8 以降]

[実行例 3]

図 14-4b 1000BASE-T(SFP-T) 指定実行結果画面 【AX2100S】

> show interfaces gigabitethernet 0/20

Date 20XX/07/26 11:55:51 UTC

Port 0/28 : active up 1000BASE-T full(auto) 0012.e210.011C

SFP connect

Time-since-last-status-change: 01:56:59

Bandwidth: 1000000kbps Average out: 101Mbps Average in: 706Mbps

Peak out: 331Mbps at 11:50:03 Peak in: 1000Mbps at 11:51:27

Output rate: 95.4Mbps 2.6kpps

Input rate: 662.8Mbps 14.7kpps

Flow control send : off

Flow control receive: off

TPID: 8100

Frame size: 9038 Octets Interface name: gigaether0/20

Description:

<Out octets/packets counter>		<In octets/packets counter>	
Octets :	89213510238	Octets :	619398617048
All packets :	19606804	All packets :	1443757192
Multicast packets :	4899190	Multicast packets :	81030388
Broadcast packets :	9802360	Broadcast packets :	19611020
Pause packets :	336	Pause packets :	71222017
<In line error counter>			
CRC errors :	0	Symbol errors :	0
Fragments :	0	Short frames :	0
Jabber :	0	Long frames :	0
Error frames :	0		
<Line fault counter>			
Link down :	0		

>

[実行例 4]

図 14-5b 1000BASE-T(SFP-T) 詳細統計情報指定実行結果画面 【AX2100S】

> show interfaces gigabitethernet 0/28 detail

```

Date 20XX/07/26 11:55:52 UTC
Port 0/28 : active up 1000BASE-T full(auto) 0012.e210.011C
  SFP connect
  Time-since-last-status-change: 01:57:01
  Bandwidth: 1000000kbps Average out: 101Mbps Average in: 705Mbps
  Peak out: 331Mbps at 11:50:03 Peak in: 1000Mbps at 11:51:27
  Output rate:      104.4Mbps      2.9kpps
  Input rate:       726.9Mbps     16.2kpps
  Flow control send : off
  Flow control receive: off
  TPID: 8100
  Frame size: 9038 Octets Interface name: gigaether0/20
  Description:
  <Out octets/packets counter>      <In octets/packets counter>
  Octets      :      89228521649  Octets      :      619503105947
  All packets :      19610113     All packets :      1444000560
  Multicast packets :    4900033   Multicast packets :    81044043
  Broadcast packets :   9804005   Broadcast packets :   19614324
  Pause packets :         336     Pause packets :   71234023
  64 packets  :         2606     64 packets  : 1305961468
  65-127 packets :    137193    65-127 packets :    274269
  128-255 packets :   280050    128-255 packets :    560222
  256-511 packets :   560135    256-511 packets :   1120250
  512-1023 packets :  1118725    512-1023 packets :   2236627
  1024-1518 packets : 1081252    1024-1518 packets :   73400731
  <In line error counter>
  CRC errors      :          0     Symbol errors   :          0
  Fragments       :          0     Short frames    :          0
  Jabber          :          0     Long frames     :          0
  Error frames    :          0
  <Line fault counter>
  Link down       :          0
  
```

>

[実行例 3, 4 の表示説明]

10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T, 100BASE-FX/1000BASE-X のインタフェース情報, ポートの詳細情報と統計情報の表示項目の説明を次の表に示します。

表 14-3 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T, 100BASE-FX/1000BASE-X の summary 情報表示

表示項目	表示内容	
	詳細情報	意味
(略)		
<回線種別>	10BASE-T half ※11	10BASE-T 半二重 【AX2200S】 【AX2100S】
	10BASE-T half(auto) ※11	10BASE-T 半二重 【AX2200S】 【AX2100S】 (オートネゴシエーションにより, 上記回線種別となりました)
	10BASE-T full ※11	10BASE-T 全二重 【AX2200S】 【AX2100S】
	10BASE-T full(auto) ※11	10BASE-T 全二重 【AX2200S】 【AX2100S】 (オートネゴシエーションにより, 上記回線種別となりました)
	100BASE-TX half ※11	100BASE-TX 半二重 【AX2200S】 【AX2100S】

表示項目	表示内容	
	詳細情報	意味
(略)	100BASE-TX half(auto) ※11	100BASE-TX 半二重 【AX2200S】 【AX2100S】 (オートネゴシエーションにより、上記回線種別となりました)
	100BASE-TX full ※11	100BASE-TX 全二重 【AX2200S】 【AX2100S】
	100BASE-TX full(auto) ※11	100BASE-TX 全二重 【AX2200S】 【AX2100S】 (オートネゴシエーションにより、上記回線種別となりました)
	1000BASE-T full(auto)	1000BASE-T 全二重 (オートネゴシエーションにより、上記回線種別となりました)
	(略)	
PoE Status ※10 ※11 【AX2200S】 【AX2100S】	ポートの PoE 状態を表示します。	
	on	電力を供給しています。
	off	電力を供給していません。
	faulty	接続された装置に電力を供給できません。
	denied	十分な電力がなく、電力を供給していません。
	inact	運用コマンドで電力の供給を停止しています。
Class ※10 ※11 【AX2200S】 【AX2100S】	供給中の IEEE802.3af/IEEE802.3at 準拠電力供給クラス、または手動による電力供給割り当てを表示します。	
	0	Class0(15.4W)
	1	Class1(4.0W)
	2	Class2(7.0W)
	3	Class3(15.4W)
	4	Class4(30.0W)
	manual	手動による電力供給割り当て
	—	無効
Priority ※10 ※11 【AX2200S】 【AX2100S】	設定した電力供給の優先度を表示します。	
	critical	ポート優先度設定が有効で、最重要ポートとして電力供給を保証します。
	high	ポート優先度設定が有効で、電力供給の優先度を高く供給します。
	low	ポート優先度設定が有効で、電力供給の優先度を低く供給します。
	—	ポート優先度設定が無効で、電力を供給します。
	never	PoE 機能無効です。

注※10 PoE モデルだけ表示します。

注※11 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T (UTP) の場合だけ表示します。

show port

変更

[実行例 4] [実行例 4 の表示説明] [Ver.2.8 以降]

[実行例 4]

図 14-9 トランシーバの情報一覧表示実行結果画面例

> show port transceiver

Date 20XX/07/26 11:54:00 UTC

Port Counts: 4

```

Port: 0/25 Status: connect      Type: SFP  Speed: 1000BASE-SX
      Vendor name: FINISAR CORP.      Vendor SN : PDC2FSX
      Vendor PN  : FTLF8519P2BNL      Vendor rev: A
      Tx power  : -4.8dBm             Rx power  : -
Port: 0/26 Status: connect      Type: SFP  Speed: 1000BASE-SX
      Vendor name: FINISAR CORP.      Vendor SN : PK64D8V
      Vendor PN  : FTLF8519P2BNL      Vendor rev: A
      Tx power  : -5.5dBm             Rx power  : -29.6dBm
Port: 0/27 Status: connect      Type: SFP  Speed: 1000BASE-T
      Vendor name: FINISAR CORP.      Vendor SN : PJT5C19
      Vendor PN  : FCLF-8520-3        Vendor rev: A
      Tx power  : -                   Rx power  : -
Port: 0/28 Status: connect      Type: SFP  Speed: 1000BASE-T
      Vendor name: FINISAR CORP.      Vendor SN : PJT5JZ1
      Vendor PN  : FCLF-8520-3        Vendor rev: A
      Tx power  : -                   Rx power  : -

```

>

[実行例 4 の表示説明]

表 14-8 トランシーバ情報一覧の表示説明

表示項目	意味	表示詳細情報
Port Counts	対象ポート数	—
Port	ポート	インタフェースポート番号
Status	トランシーバ状態	connect : 実装 notconnect : 未実装 not support : 未サポートのトランシーバが実装 - : トランシーバ状態が不明 (不完全接続等) ※1
Type	トランシーバ種別	SFP : SFP
Speed	回線速度	1000BASE-T : 1000BASE-T 【AX2100S】 1000BASE-SX : 1000BASE-SX 1000BASE-SX2 : 1000BASE-SX2 1000BASE-LX : 1000BASE-LX 1000BASE-LH : 1000BASE-LH 1000BASE-BX10-D : 1000BASE-BX10-D 1000BASE-BX10-U : 1000BASE-BX10-U

第 4 編 運用コマンドレファレンス

表示項目	意味	表示詳細情報
		1000BASE-BX40-D : 1000BASE-BX40-D 1000BASE-BX40-U : 1000BASE-BX40-U - : 回線速度が不明
Vendor name	ベンダ名	ベンダ名を表示します。※2
Vendor SN	ベンダシリアル番号	ベンダで付与されたシリアル番号を表示します。※2
Vendor PN	ベンダ部品番号	ベンダで付与された部品番号を表示します。※2
Vendor rev	ベンダリビジョン	ベンダで付与された部品番号のリビジョンを表示します。※2
Tx Power	送信光パワー	送信光パワーを dBm で表示します。※2※3※4
Rx Power	受信光パワー	受信光パワーを dBm で表示します。※2※3※4

注※1 "-"を表示した場合は、再度ケーブルを接続しなおしてください。

注※2 トランシーバ状態が connect または not support 以外の場合は "-" を表示します。接続した状態で "-" 表示となった場合は、再度コマンドを実行するか、ケーブルを再度接続しなおしてください。再度コマンドを実行することにより情報を表示します。

注※3 光パワーが「-40dBm~+8.2dBm」の範囲外の場合は "-" を表示します。

注※4 環境条件によって誤差が発生する場合があります。正確な値を調べるには、測定器で測定してください。

2 装置関連の障害およびイベント情報

2.5 ポート

2.5.2 イベント発生部位=SFP

追加

表 2-52 イベント発生部位=SFP の装置関連の INFO 情報 [Ver.2.8 以降]

表 2-52a イベント発生部位=SFP の装置関連の WARN 情報 [Ver.2.8 以降]

表 2-52 イベント発生部位=SFP の装置関連の INFO 情報

項 番	イベント レベル	イベント 発生部位	メッセージ 識別子	メッセージテキスト
				内容
9a	INFO	SFP		Detect to mount Transceiver module[1000BASE-T] on the port(<IF#>). 【AX2100S】
ポートにトランシーバ [1000BASE-T] が挿入されています。 <IF#> : インタフェースポート番号 [対応] なし。				

表 2-52a イベント発生部位=SFP の装置関連の WARN 情報

項 番	イベント レベル	イベント 発生部位	メッセージ 識別子	メッセージテキスト
				内容
1	WARN	SFP		SFP-T access error (<IF#>). 【AX2100S】
ポートに挿入した SFP-T トランシーバでエラーが発生しました。 <IF#> : インタフェースポート番号 [対応] 正規のトランシーバであることを確認して挿入し直してください。 接触不良により、正規のトランシーバが認識できない場合があります。再度挿入し直してください。 回復しない場合はトランシーバを交換してください。				
2	WARN	SFP		SFP-T access recovered (<IF#>). 【AX2100S】
ポートに挿入した SFP-T トランシーバのエラーが回復しました。 <IF#> : インタフェースポート番号 [対応] なし。				

2.5.3 イベント発生部位=FABRIC

追加

表 2-57 イベント発生部位=FABRIC の装置関連の FATAL 情報 [Ver.2.8 以降]

表 2-57 イベント発生部位=FABRIC の装置関連の FATAL 情報

項 番	イベント レベル	イベント 発生部位	メッセージ 識別子	メッセージテキスト
				内容
8	FATAL	FABRIC	1d120000 1d121000	Hardware restarted because of its failure.<code> 【AX2100S】 【AX1240S】
装置にハードウェア障害が発生したので、再起動を行いました。 <code> : エラー情報 (メーカー解析用情報) [対応] 障害を継続的に検出する場合、装置を交換してください。				

3 プライベート MIB

3.14 ax2130sDevice グループ (システム装置の筐体情報 MIB)

3.14.5 ax2130sChassis グループの実装仕様 (line (物理回線) 情報)

変更

表 3-39 ax2130sPhysLine グループの実装仕様(line(物理回線)情報) [Ver.2.8 以降]

表 3-39 ax2130sPhysLine グループの実装仕様(line(物理回線)情報)

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
4	ax2130sPhysLineConnector Type {ax2130sPhysLineEntry 2}	INTEGER	R/O	交換可能なトランシーバ上のインターフェース種別。 ・ other(1) ・ type1000BASE-LX(301) ・ type1000BASE-SX(302) ・ type1000BASE-LH(303) ・ type1000BASE-BX10-D(304) ・ type1000BASE-BX10-U(305) ・ type1000BASE-BX40-D(306) ・ type1000BASE-BX40-U(307) ・ type1000BASE-SX2(308) ・ type1000BASE-UTP(309) 【AX2100S】 次の場合は other (1) を応答します。 ・ 種別が不明または交換不可のトランシーバ	●